

戸田市消防署東部分署 建て替えに関する説明会資料



戸田市消防本部 総務課

東部分署の現状と課題

東部分署は昭和48年に建築され、建築から約50年経過し老朽化が進むとともに消防需要に対応するため、車両・設備等を増やし狭隘化が著しい状況となっています。また、昨今の異常気象等による災害対応、行政機能の重要性や、人口減少社会における公共施設の最適配置等の観点から庁舎としての消防活動拠点機能の強化が必要となっています。



庁舎の老朽化・狭隘化

老朽化が進み各所で劣化が見受けられます。また、近年の消防需要に対応するため狭隘化も著しい状況です。



【庁舎正面】



【車庫内天井】

消防力の強化

敷地は集合住宅に挟まれ訓練中の声や車両の騒音等は周辺に配慮する必要があります。また、屋内トレーニング室は十分な広さを確保出来ていません。



【現状の周辺状況】



【トレーニング室】

安心の119番受信体制の整備

現在、本署には非常用電源設備が設置されていますが、近年の激甚化する水害に対応するため電源設備の強靱化や指令センターは導入から11年が経過する令和7年度末を目途に更新が必要です。



【消防本部非常用電源設備】



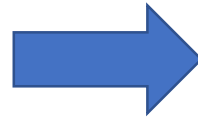
【指令センター】

緊急体制の維持

新型コロナウイルス感染症の流行により、救急体制の維持はこれまで以上に重要となります。仮眠室の個室化、除染施設の整備等施設内の各種感染症対策の強化が課題となります。



【東部分署仮眠室】



【仮眠室個室化イメージ】



【洗浄室イメージ】

戸田市消防としては、以前から抱えている課題である

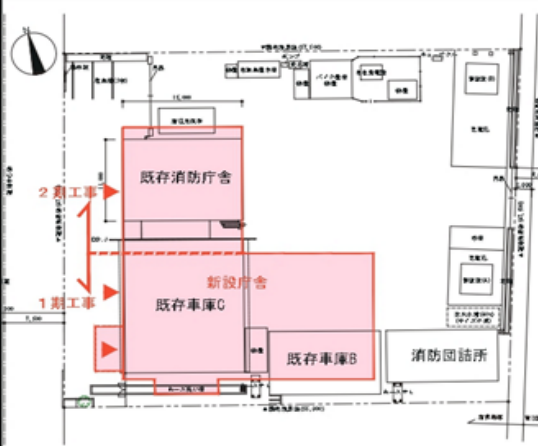
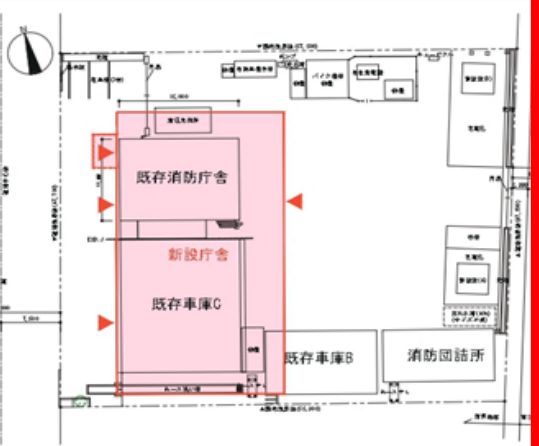
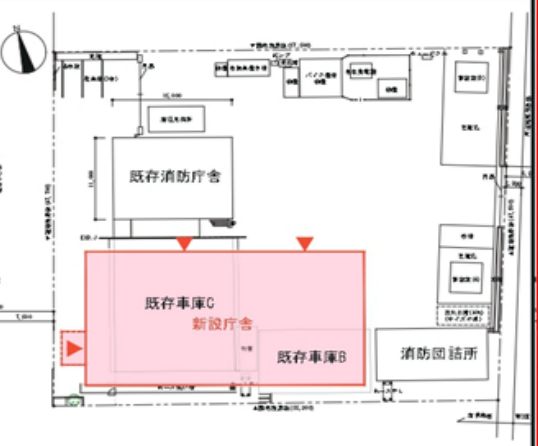
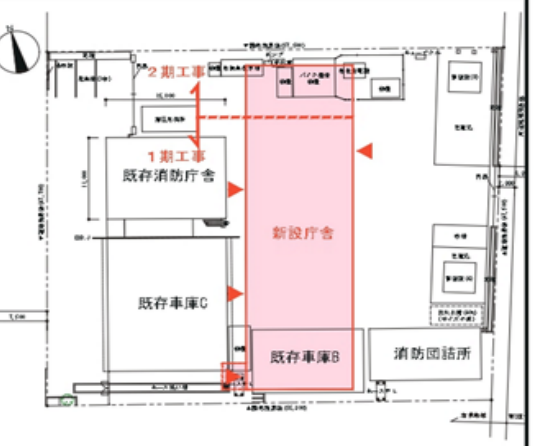
「庁舎の老朽化・狭隘化」

「消防力の強化」に加え、
新たに抱える課題である

「安心の119番受信体制の整備」

「緊急体制の維持」を含めた課題について、総合的に解決を図るためには、個々に投資をして改修等を行うことは、コスト面や将来的な施設管理面からも最適ではなく、最良の方法として東部分署を建て替え、同時に指令センター機能を移設することが最良であるとの結論に至りました。なお、新たな計画地の取得はコスト、立地面から困難であることから、本計画では既存敷地の中で現在の東部分署の業務を継続しながら建て替えの検討を行うこととしました。

庁舎配置検討結果

		A案	B案	C案	D案
配置図					
整備手順		<ul style="list-style-type: none"> 既存車庫を解体 既存車庫の跡地に庁舎建設(1期工事) 新庁舎引越しの上、既存庁舎を解体 既存庁舎の跡地に庁舎増設(2期工事) 外構整備 	<ul style="list-style-type: none"> 仮庁舎を建設 仮庁舎引越しの上、既存庁舎・車庫を解体 既存庁舎・車庫の跡地に庁舎建設 新庁舎引越しの上、仮庁舎を解体 外構整備 	<ul style="list-style-type: none"> 既存車庫を解体 既存車庫の跡地に庁舎建設 新庁舎引越しの上、既存庁舎を解体 外構整備 	A案と同じ
動線	出勤	◎ 西側前面道路に直行	◎ 西側前面道路に直行	○ 西側前面道路に左折	◎ 西側前面道路に直行
	訓練	◎ まとまったスペースを確保	◎ まとまったスペースを確保	◎ まとまったスペースを確保	○ 東西に分かれる
	来庁	◎ 西前面道路に玄関	◎ 西前面道路に玄関(工事中は東)	◎ 西前面道路に玄関	◎ 西前面道路に玄関
周辺環境		○ 南北(集合住宅側)に居室	◎ 東西(道路側)に居室	○ 南北(集合住宅側)に居室	◎ 東西(道路側)に居室
居室環境		○ 北側に執務室、南北側に仮眠室	○ 東西側に執務室、仮眠室	○ 北側に執務室、南北側に仮眠室	○ 西側に執務室、東西側に仮眠室
工事	期間	○ 工事期間がタイト(構造に制限の可能性あり) 指令室移転: 令和7年度中旬	○ 工事期間が比較的余裕あり 指令室移転: 令和7年度下旬	○ 工事期間が比較的余裕あり 指令室移転: 令和7年度下旬	○ 工事期間がタイト(構造に制限の可能性あり) 指令室移転: 令和7年度中旬
	使用エリア	○ 工事エリア外を利用	△ 工事エリア外が狭小(東西が分断) 出勤・来庁動線が東側道路	○ 工事エリア外を利用	△ 一部工事エリア外が狭小(東西が分断)
	費用	○ 標準	△ 割高	○ 標準	○ 標準
メリット		仮庁舎が不要	将来的な使い勝手がよい 工事期間が比較的余裕あり	仮庁舎が不要 工事期間が比較的余裕あり	仮庁舎が不要
デメリット		工事期間がタイト(構造に制限の可能性あり)	コストが割高 工事中の使い勝手が比較的不よい	左折しての出勤動線	工事期間がタイト(構造に制限の可能性あり) 工事中の使い勝手が比較的不よい
総合評価		○	△	◎	○

整備の基本方針

■ 消防活動拠点としての庁舎

- ・ 災害時に庁舎機能及び通信指令センター機能を維持し、災害対応機能を十分に発揮できるように、非常時でも電力、水等のライフラインの適切な確保が行え、自立できる設備を検討

■ 業務効率の良い庁舎

- ・ 消防力を強化するための訓練設備を検討
- ・ 各種感染症対策を講ずるための設備を検討

■ 市民に親しまれる庁舎










- ・ 外観は地域の街並みに調和した庁舎を検討
- ・ 市民向け講習会を実施できる設備を検討

■ 環境にやさしく経済性に優れた庁舎

- ・ LED照明・人感センサーによる点灯システム・調光システム等の採用を検討し、消費電力の縮減について検討

A 3 資料をご覧ください

事業スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基本計画					
基本設計					
実施設計					
車庫解体・新庁舎工事・旧庁舎解体					
工事監理業務					
家屋調査					
供用開始					

工事による建物の影響を調査するため、令和5年秋頃から家屋調査（事前調査）を実施いたします。主に建物外観、外構の調査を行います。

※各戸への訪問は予定していません。

説明会について

説明会資料につきましては、説明会終了後、市のホームページに公開いたします。

現在、実施設計（工事に向けた設計）を実施しています。

次回の説明会については、実施設計が完成する時期

（令和6年3月頃）に開催を計画しています。

ご清聴ありがとうございました

